

鳥羽市・サンタバーバラ市学生交換派遣事業

ホームステイ体験記

総務課秘書係 ☎(25)1105

市内の中学生4人が8月2日～12日にかけて、姉妹都市サンタバーバラ市(米国)を訪れ、8月13日～21日の間サンタバーバラ市の中学生をそれぞれの家庭が受け入れました。

すばらしい体験をした中学生のみなさんにそれぞれの国での体験などについて話していただきました。



サンタバーバラ交換留学を終えて

鳥羽東中学校1年 木場悠斗

今思うと、あれは夢だったのではないかと疑ってしまうほど楽しい夏でした。

サンタバーバラの気候は過ごしやすく、人びとはフレンドリーで、すぐになじむ事ができました。ジェイクと家族

はとてもやさしく接してくれて毎日安心して過ごすことが出来ました。ジェイクは得意のドラムを教えてくれ、兄のケイディンはギターを演奏してくれました。男グループでキャンプをしてジェイクとお父さんのポールとキャンピングカーに泊まったのも楽しい思い出です。お母さんのドリンは僕の好きなハンバーガーやピザを食べさせてくれ、僕が楽しめるようにいつも気遣ってくれました。

最初は早い英語に耳が慣れていかず翻訳アプリを頼っていたけれど、なるべく知っている単語を並べて話すように心がけたら途切れ途切れでも会話が楽しくなりました。サーフィンに挑戦したり、街をサイクリングしたり、カリフォルニア大学を見学できたのも良かったです。

最も楽しかったのはフィエスタという祭りです。僕は祭りの会場でジェイクの従姉や友達と一緒にジュースの販売を手伝ったけれど、みんなノリですごく盛り上がりました。

今回の目的のひとつでもあった兄のホストファミリーに再会できたのも良かったです。僕が来るのを楽しみに待っていたジヨナと母のスーザンは、すごく歓迎してくれてお互い再会を喜びました。病気をしたスーザンに家族で折つ



た千羽鶴を渡したらとても感動してくれました。たった11日間でしたが、とても充実していました。僕のことを本当の家族のように迎えてくれたファミリーにとっても感謝しています。

アメリカの文化や生活を体験し、家族や友達と日常会話を楽しんだ全ての事が新鮮であり、また学習でした。世界の広さを実感し、もっともっと知らない世界を知ってみたいと思うようになりました。

将来、英語を使って活躍したい。そのためにこれから何をすべきなのかを真剣に考えるようになりました。

ジェイク、カイ、アイリン、ハラニ、右京、美海、穂乃、そしてみんなの家族、楽しい思い出がありがとつ。最高の友達とチームワークでした。

最後に関係者の皆様、このようなチャンスをくれて本当にありがとうございました。

SB日記

皇學館中学校3年 岡山右京

僕は以前から、サンタバーバラに興味を持っていましたが、1年生から2年生までは体調がすぐれず、3年生になり応募することを決意しました。

サンタバーバラに着いた初日、一番最初に驚いたことは、英語を話すスピードの速さでした。今までに聞いていた英語とは違い、英語に慣れるのに2日ほどかかりましたが、ホストファミリーのカイの家族は優しく、そして温かく迎えてくれました。そのおかげで少しずつ会話ができるようになり、コミュニケーションがとれるようになるにつれて、どんどん楽しくなっていきました。



充実した日々を過ごすことが出来ました。

サンタバーバラの気候は、湿度が低く雨が降らないので、毎日が晴天で清々しく感じました。特に、みんなで海沿いをサイクリングした爽快感は忘れられません。

色々な場所に案内してもらいましたが、すべてが楽しかったです。その中でも、ウエルカムパーティが印象に残っています。サンタバーバラ鳥羽姉妹都市交友会の皆さんや昨年の交換留学生とたくさん話すことが出来ました。その時、交友会のかたから「特技の書道を披露しよう」と言われ、その場で書道を披露することになりました。サンタバーバラの町並みが綺麗だったので、「美」という漢字を書きました。すると皆さんがとても喜んでくれたので嬉しかったです。

今回の交換留学で、英語の

大切さ、コミュニケーション能力、新しい発見などたくさんを経験し、学ぶことができました。そしてこれらのグローバル社会に向けて、もっと英語を学び、スキルを身につけたいと思いました。

最後に、今回の交換留学でお世話になった皆さんに助けていただき、とても感謝しています。サンタバーバラに行き機会を作り、カイヤカイの家族、サンタバーバラで出会った人達にもう一度会いたいと思っています。この夏休みは僕にとって、今までで最高の夏休みでした。

交換留学に参加して 加茂中学校1年 寺田穂乃^{ほの}

私がこの交換留学に応募しようとしたきっかけは、3年前に私の姉がこの交換留学に応募して、受け入れの時に姉の交換留学生の相手の子とすごく仲良くなれたけど、英語がまったく話せなくて、ちゃんと話せた話ができませんでした。だから、今回この交換留学に私も応募して、英語を話すだけじゃなく、体など全てで表現したかったからです。サンタバーバラに着いた時は少し不安で、緊張して、あ

まり話をするのができなくて、ホストファミリーには迷惑をかけたと思います。だから、迷惑をかけた分、いっぱい楽しんで、いっぱい思い出を作りました。

私は、海外に行くのは初めてで、アメリカの食べ物や服、アクセサリに興味がありました。サンタバーバラでは、服もアクセサリもいっぱい買えました。日本とは少し変わったオシャレを楽しめました。食べ物も、私が想像していた美味しさでは無かったです。でも、やっぱりボリュームがすごくて、「さすがアメリカ!!!」と思いました。私は、アイスクリームが大好きだったので、ずっと食べていました。日本には無いような味ばかりで驚きました。例えば、綿菓子味やヨーグルト味など、



個性的な味ばかりでした。でも、すごく美味しかったです。

最初は、「十日間は長いなあ」と思っていたけど実際、体験してみると、短いと思う時もあるけど、長いと思う時もありました。短いと思った時は、すごく楽しめていた時で、長いと思った時は、少し不安になった時です。でも、不安になった時は、一緒にサンタバーバラに行ったメンバーが支えてくれました。私のホストファミリーは私のことをすごく大切にしてくれました。いつか必ず、ホストファミリーと再会したいと思っています。

言葉の壁を乗り越えて 鳥羽東中学校2年 松本美海^{みう}

他国の文化や生活に興味があった私は、今回サンタバーバラ交換留学に参加しました。

サンタバーバラでは、ハラ二家にホームステイをさせていただき、サイクリング、市長表敬訪問、メインストリートでのショッピング、ハラ二家でのお泊り会、ブルーベリーの摘み、カリフォルニア大学、ファイエスタ祭り、プールパーティー、ソルバング、ネバダランド、ビーチなどに行きました。そこではいろいろな経験を通して、アメリカの文化

や生活に触れることができ、とても視野が広がりました。

また、ホスト先では日本の文化も伝えることができました。ある日、折り紙で鶴を折ってハラ二に見せると、とても喜んでくれたので、折り方を教えながら一緒に折りました。数日後、ホストマザーの手作りケーキのトップングになっていた時には、驚いたのと同じ時にホストマザーの気遣いが心を温かくしてくれました。それからハラ二家でのお泊り会で、日本のダンスを披露しました。ホストファミリーとホストマザーも一緒に歌ったり踊ったりして、とても盛り上がりました。特に『おどるポンポコリン』が気に入ったようで、翌日も口ずさんでくれていました。自分の国の文化をお互いに伝え合うことで、さらに理解を深めることができるのだと実感しました。

自分の考えや思いをできるだけ英語で伝えたいと思い、事前に英会話の勉強をし、サンタバーバラでは、分からない英語があった時には、その度に辞書で調べ、伝えるようにしていました。そのかいがあり、ホストファミリーに「英語がたくさん話せるね」とほめてもらい、自分に自信が

きました。未熟な英語でも、積極的に伝えようとすることがとても大切だと思いました。最初は、早く聞き取れないこともあったけど、ホストファミリーはジェスチャーを使ったり、ゆっくり話してくれたりしたので徐々に聞き取れるようになり、言葉と同時に心も通じ合え、充実した日々を過ごすことができました。

この交換留学を終えて、私が出たことは、たくさん思い出と、なにより自分自身に自信がついたことです。今、学校生活においても自信を持って何事にも前向きに取り組めるようになりました。これは、私一人の力でなく、今回の事業に携わってくださった方がたと両親のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

